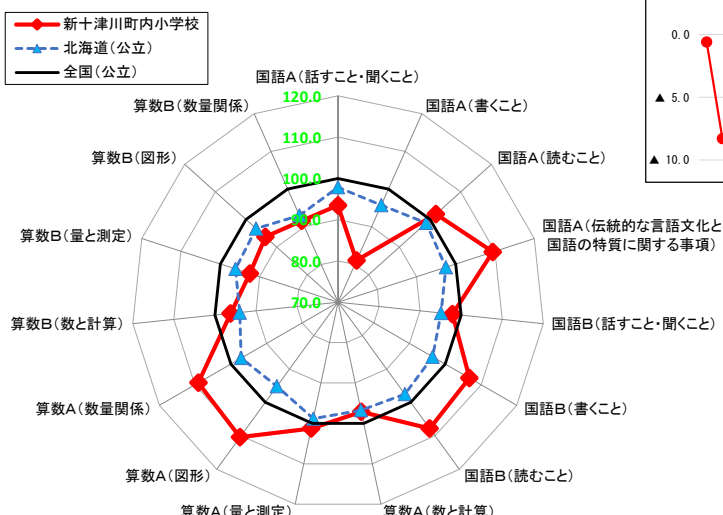


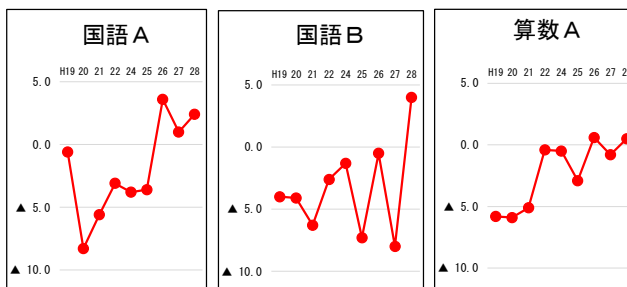
■新十津川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:50名)

【教科全体の状況】

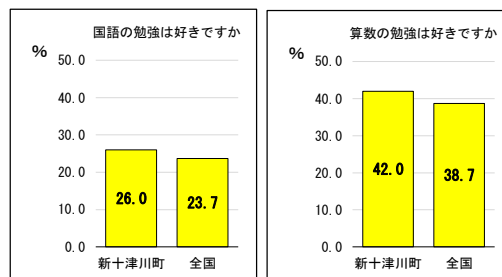
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



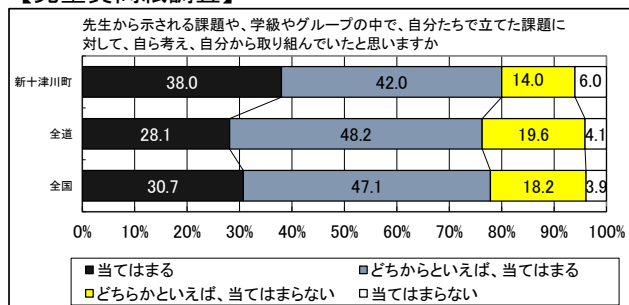
【平均正答率の全国との差の推移】



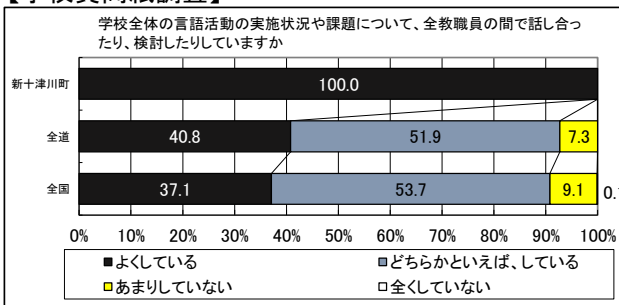
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「書くこと」、「読むこと」で全国を上回っている。 - 算数Aでは「量と測定」、「図形」、「数量関係」で全国を上回っている。	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、指導の充実が図られ、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して自ら考え、自分から取り組む児童の割合が増え、国語Aの「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「書くこと」、「読むこと」、算数Aの「量と測定」、「図形」、「数量関係」で、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国を上回っている。	平均正答率の推移については、町の「学力向上先進校視察研修」の成果の還元により、教師の指導力の向上に努めた結果、国語や算数の勉強が好きな児童の割合が増え、国語A・B、算数Aで、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりする取組をよく行っている。	

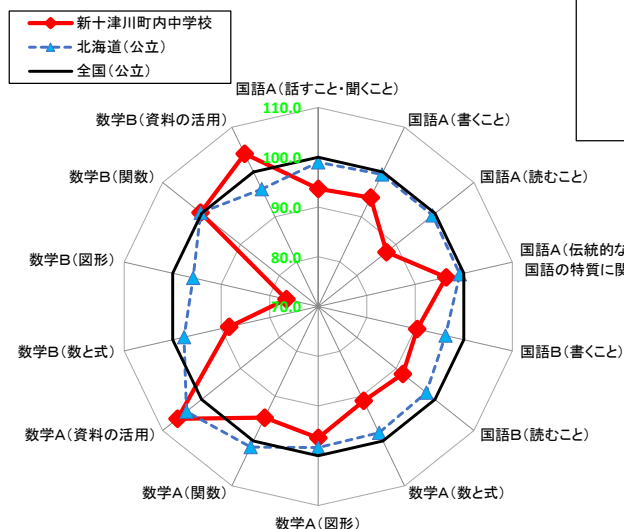
【新十津川町の学力向上策】

- ◎ 指導者のスキル向上のため、「学力向上先進校視察研修」を実施
- ◎ 「学習支援サポーター」「学力向上推進講師」を活用し、「チームティーチング指導」を実施
- ◎ 小学校児童にも1年生からの学習で、外国の生活や文化などの知識を得るため、外国青年招致事業を継続

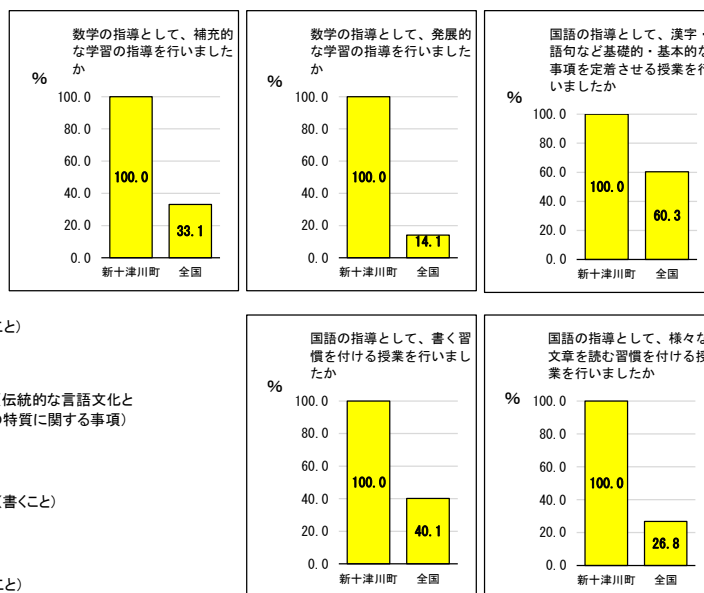
■新十津川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:55名)

【教科全体の状況】

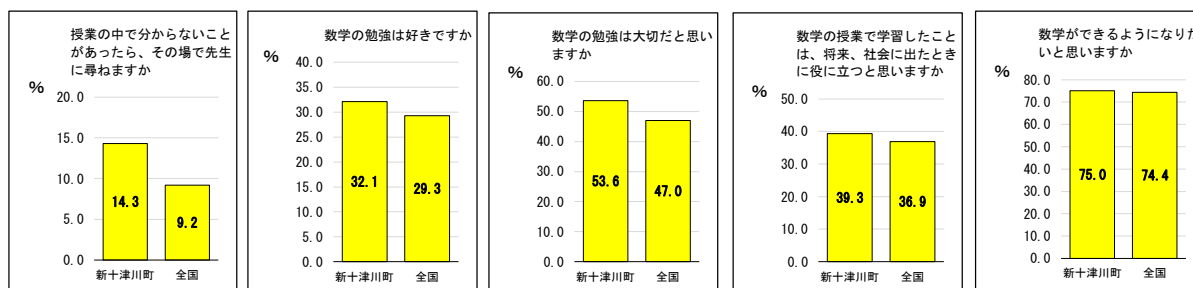
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で他の領域に比べて全国に最も近くなっている。 ○ 数学A・Bともに、「資料の活用」、数学Bでは「関数」で全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導や発展的な学習の指導を行った結果、数学の勉強が好き、大切、社会に出たときに役に立つ、できるようになりたいと思う生徒の割合が増え、数学A・Bともに「資料の活用」で、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」という質問に対して、「その場で先生に尋ねる」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業や書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った結果、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、他の領域に比べて全国に最も近くなっていると考えられる。
学校質問紙	○ 調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行っている。	

【新十津川町の学力向上策】

- ◎ 指導者のスキル向上のため、「学力向上先進校視察研修」を実施
- ◎ 「学習支援サポーター」「学力向上推進講師」を活用し、「チームティーチング指導」の実施
- ◎ 小学校教育にも第1学年からの学習で、外国の生活や文化などの知識を得るため、外国青年招致事業を継続